

## 研究開発3 国内グローバル研修 —英語宿泊研修—

### 1 目的と期待される効果

#### (1) 目的

国内で海外を体験できる研修施設において、グローバルな社会問題に関する研修を行うことにより多様な価値観について理解しつつ自己の研究を深めるとともに、英語による自己の考えの発信力、コミュニケーション能力を高める。

#### (2) 期待される効果

グローバル社会で期待されているグローバル・リーダーの役割についての理解と意識が高まることが期待できる。

### 2 内容

国内の宿泊施設において、3～5日間程度、まったく日本語を使わず、英語のみで生活する。この間に他国の歴史や伝統文化に触れ、異文化理解を深めるとともに、グローバル社会の課題について考察する。

### 3 実施方法

普通科の希望者を対象に3～5日間の宿泊研修を行う。実施後、活動報告書及び活動の記録等を基に学校設定科目「GLアクティブ」の評価とする。

### 4 検証評価方法

研修終了後にアンケートを実施し、その結果及び保護者の評価を取り入れ、検証する。

### 5 昨年度を踏まえた改善点

昨年度の参加者数が55名であったが、参加希望者全員が参加できるよう秋季休業中に実施するとともに指導方法、施設の受け入れ態勢について改善し、85名の生徒が参加できるようにした。

### 6 実施内容

「英語宿泊研修」

(1) 実施日 平成30年10月1日(月)～10月3日(水)(2泊3日)

(2) 場 所 体験型国際研修センター British Hills (ブリティッシュヒルズ)

(3) 対 象 普通科1年希望者85名

(4) 目 標 英国での生活を疑似体験しながら英語の実力を高めるとともに、英国の文化や伝統に触れ、異文化を体感し、課題研究の一助とする。

#### (5) 内 容

ア 平成30年10月1日(月)【第1日】

Lesson 1 Survival English (16:00～17:30)

研修中の生活の中で使う基本的な英語を学び、アクティビティを通して英語を使う練習をした。

### Table Manners in English (17:45～)

テーブルマナーについて映像を見ながら学び、その後実践した。

イ 平成30年10月2日(火)【第2日】

#### Lesson 2 Let's have a discussion (9:00～10:30)

架空の事件の犯人捜し・理想の学校紹介などの題材を使って、グループで英語でのディスカッションを行い、その中で話の進め方や意見のまとめ方などを学ぶ。

#### Lesson 3 Interview (11:00～12:30)

相手の考えを引き出す効果的なインタビューの方法を学んだ。

#### Lesson 4 Presentation Skill 1 (14:00～15:30)

3部屋に分かれ、各グループで準備してきたプレゼンテーションの原稿やグラフや表を講師の先生に点検してもらった。

#### 各グループでプレゼンテーションの準備と練習 (15:30～18:00)



ウ 平成30年10月3日(日)【第3日】

#### Lesson 5 Presentation Skill 2 (9:00～10:30)

3部屋に分かれ、英語でのプレゼンテーションを行った。講師の先生や他のグループから英語で質問を受け、それに答える。表現方法や応答の仕方など講師の先生からアドバイスももらった。プレゼンテーションの手法を身に付けるとともに、他国の考え方を知ることができ、課題研究を進める上で有効であった。

#### Lesson 6 British Culture(11:00～12:30)

クリケット・チェス・スヌーカー・ボードゲーム・英国の結婚式講座の5クラスに分かれ、それぞれの講師からやり方とその文化的背景を学ぶとともに体験した。

## 7 アンケート結果 (55名)

項目	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない
この研修に参加して良かった。	99%	1%	0%	0%
積極的に英語でコミュニケーションをとることができた。	50%	47%	3%	0%
プレゼンテーションのスキルを学ぶのに役立った。	96%	4%	0%	0%
ディスカッションのスキルを学ぶのに役立った。	66%	33%	1%	0%

## 記述回答（抜粋）

- 課題研究テーマについてもっと深く調べる必要があったと思った。
- 伝わりやすい英語の表現を使って積極的に話すことができた。
- 英語での会話を恐れなくなった。
- 1日目と最終日では、英語に対しての自分の積極性が全然違うと感じた。
- 課題研究のプレゼンテーションに役立てたい。
- 英語をもっと聞き取れるようになりたいと思った。
- プレゼンテーションに関していろいろ課題が見つかってよかった。
- 英語というツールを使ってコミュニケーションを取ることの難しさと楽しさを知った。
- 外国人というだけで以前はかなり緊張したのですが、この研修で自信がついた。
- これからもさらに英語や英会話に積極的に取り組んでいこうと思う。
- 講師の先生からのアドバイスを参考にして、プレゼンテーション本番ではよりよい発表ができた。
- この研修をきっかけにもっと英語を勉強しようと思った。この経験をクラスに伝えたい。
- 英語づけで大変だったけど、たくさん英語に触れられて良かった。
- プレゼンテーションやディスカッションのスキルのレベルアップができた。
- 伝えたいことが英語で伝わってとても嬉しかった。
- 初めて「もっと英語を話したい！英語でちゃんと伝えたい！」と思った。
- 改めて日本の文化を考えることができたし、他の国の事も知りたくなった。
- これからの授業でも間違えることを恐れずに頑張りたい。
- ショップでの買い物も英語でできたことで自信につながった。
- この経験を課題研究に生かしたい。
- これからは授業でも率先して英語を話していきたい。

## 8 成果と課題

英国を完全に再現した環境の中で、その文化に触れながら、英語を使う体験をすることができたのは、1年生にとって良い経験になった。日頃、学校において授業以外で英語を活用する頻度があまり多くない生徒にとっても、これからの英語学習への動機づけとなるような3日間になった。1日目はまだ自分から積極的に発表したり質問したりすることに躊躇していた生徒も、2日目になるとかなり積極的に自ら発言するようになってきた。レッスン以外の時間帯でも講師の先生や友達と英語でコミュニケーションを取ろうとする様子も窺えた。今年も前年度に引き続き、生徒は事前に各グループでプレゼンテーションの準備を学校で行い、ポスターを作成した。現地ではそれを基に、プレゼンテーションのスキルを学び、講師から様々な助言をいただくことができた。最終日にはより多くの工夫がなされたプレゼンテーションの発表をすることができた。

課題は、英語でコミュニケーションを取る際に、クイックレスポンスを苦手とする生徒が多いことである。プレゼンテーションの原稿は何回も練習し、上達する傾向にある一方で、予想していなかった質問に関しては、すぐに英語で対応できない生徒が多かった。プレゼンテーションなどにおいて質疑応答はとても重要なので、学校の授業の中で指導する必要がある。

アンケートにもあるように、本研修は、課題研究を深めるためにとっても役に立った。また、英語でコミュニケーションをとることに関するモチベーションも高まっている。今回は85名の参加であったが、参加した生徒は研修で学んだことを、後日参加しなかった他の生徒に伝達していこうとする様子が見られ、この研修の目的は確実に達成された。